

千葉市歌を懸賞募集

東京日日新聞 千葉版

昭和4年9月4日

千葉市歌を懸賞募集

千葉市役所では近く市誌発行に
十年を迎へる先、先づ千葉市を
表徴する市歌を懸賞募集するこ
ととなり三日募集ポスターを市
内各所に貼付した
締切は十月十五日限りで十一
月三日発表する賞金一等五
十圓、二等三十圓、三等十圓

市歌入選者発表さる

東京日日新聞 千葉版

昭和4年11月3日

市歌入選者発表さる

百廿種中から厳選して

千葉市が市誌十周年を記念すべく
かねて懸賞募集中の「千葉市歌」は
懸賞歌百廿種の中より詩壇の大家
白鳥谷吉氏が厳選し、昨二日左記
五氏の當選を発表した

一等 縣立圖書館

落合 榮一

二等 千葉市竹葉補習學校

稻子 中

二等 千葉縣郡町村作草部

島田猪之舌

縣立圖書館

山本 昇

千葉市寒川長辨

小笠原三郎

千葉縣立圖書館内 落合榮一

一等入選歌

浪路遠かに 雲る鳥嶺
響けく拓く 天窓の國
房總の野の 輝く都
見よ滔々と新築の 文化の集ひ
吾が千葉市

一等

落合 榮一

猪の鼻山の 松風遠く
袖師ヶ浦の 寄せる波に
語り傳ふる 大治のおかし
いま滄刺と新しき 時代に立て
る 吾が千葉市

二等

稻子 中

三

島田猪之舌

朝霧はれゆく 寒川沖を
希望の風に 白帆を掲げて

希望の風に 白帆を掲げて

希望の風に 白帆を掲げて

希望の風に 白帆を掲げて

希望の風に 白帆を掲げて

希望の風に 白帆を掲げて

希望の風に 白帆を掲げて

希望の風に 白帆を掲げて

希望の風に 白帆を掲げて

希望の風に 白帆を掲げて

希望の風に 白帆を掲げて

希望の風に 白帆を掲げて

希望の風に 白帆を掲げて

希望の風に 白帆を掲げて

希望の風に 白帆を掲げて

希望の風に 白帆を掲げて

希望の風に 白帆を掲げて

希望の風に 白帆を掲げて

希望の風に 白帆を掲げて

希望の風に 白帆を掲げて

希望の風に 白帆を掲げて

希望の風に 白帆を掲げて

希望の風に 白帆を掲げて

希望の風に 白帆を掲げて



一等入選の落合榮一(一)君は喜んで語る

切間際にあわて、應募

の歌詞を市歌として採用することに決定これが作詞については近くさらに懸賞募集を行ふと

詩味豊か

選者白鳥氏談

心あはせて 清きゆく如く
あゝ玲瓏と建設の
意氣高らかな 吾が千葉市

右につき選者白鳥谷吉氏は語る
懸賞市歌はいづれも成績良好で
一等落合君のは詩味豊かで朗誦
の聲におのづから市民としての
生活の喜びがある理由ほらずに
楽しく歌へる事が市歌として特
長がある、二等稻子君のは大漁
歌を採り、又入選だが、詩的な配
置が見え且つ春土色がたつより
出でゐる、三等の三君のもすべ
からである

一等を市歌に

作曲も懸賞募集

千葉市役所では一等入選の落合君